

担当教員：古地順一郎・池ノ上真一・池田祥英

所属学生：末永智裕・坂本莞・新国誠・阿部史佳・宇田共佑・武田春香・佐藤果菜子

活動期間：平成 29 年 10 月～平成 30 年 7 月

はじめに

外国とつながる函館プロジェクトでは大きく 2 つの活動を軸としている。1 つは函館市の姉妹都市ハリファックスとの交流促進である。また函館市西部地区における外国人観光客とのコミュニケーションツールの作成を行った。以下の文章においては前者をハリファックス班、後者を地域班と呼称する。

1 背景・目的・概要

○地域班

近年、外国人観光客のニーズが変化している。つまりモノ消費から、その土地での経験を重視するコト消費へと変化したということである。そうした背景を踏まえ、私たちのプロジェクトでは外国人と函館市民が交流する場を設けることを目的にコミュニケーションのツール作成を行った。具体的には後期で外国人向けパンフレットを作成し、前期でその検証を行った。

○ハリファックス班

函館とカナダ・ハリファックスとの姉妹都市交流の発展を目的としている。一昨年に函館ハリファックス協会が行ったイベントで、参加者を対象としたアンケートで人と人の交流を求める声が多数だった。加えて、姉妹都市交流活動の軸となる国際交流団体では高齢化が進んでいる。以上の 2 点から、主に中学高校生といった若い世代の直接的な交流で関心を高め、次世代での交流促進を目的とした活動を行った。

2 年間スケジュール

	○地域班	○ハリファックス班
10月	パンフレット改訂作業	プロジェクトの方針決め
11月	パンフレットの印刷・配布	七飯町役場訪問・聞き取り調査
12月	ホームページの作成	HIF・函館市教育委員会訪問・聞き取り調査 函館ハリファックス協会主催パーティー参加 オーナメントの飾り付け
1月	地域プロジェクト中間発表 アンケートフォームとのリンク	地域プロジェクト中間発表
4月	リーフレットの作成	中学生派遣事業中止による目標の見直し
5月	クルーズ船来港時に配布・調査	アンケートの作成・準備
6月	クルーズ船来港時に配布・調査	函館市内高校 2 校へのアンケート実施
7月	リーフレットの一部改訂	アンケートのデータ集計

3 プロセスと成果

○地域班

活動過程においてはメンバーの佐藤が外部の協力先と連絡を行い、末永と武田でデータの処理などを行った。最も時間を要したのはパンフレットの印刷であって、その点が悔やまれる。パンフレットの配布は前期におよそ 400 部、後期におよそ 300 部を配布し、順調に進んだ。また現地調査においては、駅周辺の観光客を西部地区に移動させるということは難しかったものの、まるたま小屋周辺での配布は外国人観光客との交流を一定程度生み出しており、その意味で当初の目的を達成できていると考えている。

○ハリファックス班

2 年後期には函館市が行っていた（今年度は中止）姉妹都市への中学生派遣事業に着目し、ハリファックスへの派遣提案を重点的に行った。2020 年東京オリンピックに向けたカナダ選手団合宿誘致による次世代交流促進といった内容を中心とした提案だ。結果的に、距離や派遣期間の金銭的な負担の大きさや、カリキュラムの関係から派遣は厳しいとのことだった。3 年前期は今年度の派遣事業中止という現状から、今の中高生が姉妹都市交流にどれくらいの関心・意欲があるか調べる調査を行った。今後の活動展開、姉妹都市の必要性を確認する機会になった。事実として成果といえる成果を出すことはできなかった。

4 総括と反省・今後の課題

○地域班

総括として 3 年前の目的との乖離が挙げられる。一定程度の成果は生み出したものの、それが目的と一部ずれているということは否めない。またメンバーに関しては大変積極的に活動に取り組めた。パンフレットは配布と検証というひとつの成果に達したという考えから、今後どういった活動を展開するかが課題である

○ハリファックス班

現代における姉妹都市交流の難しさ、どう向き合っていくべき問題なのかを実感したプロジェクトであった。しかし、高校生を対象としたアンケートではハリファックスとの交流への関心が高いことが分かった。今後の課題としては、どのような直接的な交流活動を行うか、そもそものプロジェクトの存続性を考える必要がある。

5 地域からの評価

○地域班

提携先まるたま小屋の店主の方とは、私たちの作成したパンフレットがコミュニケーションを生み出しうるものであり、その目的が一定程度達成されていると共通に考えている。そのほか、多くの配布先のみなさまからパンフレットの完成度については良い評価をいただきながらも、言語に関しては英語への統一が本当に良いのか、という問題提起をいただいた。

○ハリファックス班

大学生はもちろん、若い子たちで姉妹都市交流を盛り上げてほしいという意見を数多くいただいた。
12月に函館ハリファックスの姉妹都市関係者や函館市工藤市長が集まったクリスマス会での発表は評価が高かった。